

# まちかど・ズーム IN!

## 自ら学び、考える機会として

### 子供たちの田んぼ作業体験



学校完全週五日制を契機に、作業体験を通じて自ら学び考える力を育む機会にと、滝上小中学校親の会の皆さんが企画して、5月26日、子供たちの田んぼ作業体験が行われました。

地区の小中学生や父母、地域の方々、そして市国際交流員や外国語指導助手などの約30人が、手作業で約120㎡の田んぼに餅米を植えました。

子供たちは、泥だらけになりながらも楽しく田植えを行い、田植えの後は英会話や笹巻き作りなども体験しました。

今後も除草や稲刈り、餅つき体験などが行われる予定です。



## 第66回河北美術展仙南展

第66回河北美術展仙南展が6月5日から9日まで、中央公民館で開催されました。

会場には全入賞作品のほか、仙南地域の入選作を中心に彫刻・日本画・洋画合わせて104点の作品が展示され、入場者は、力作ぞろいの作品を一つ一つじっくりと鑑賞していました。

## 大作に思わずうっとり



▲東北放送賞「想」  
渡部りつさん(郡山)



市内入賞者・作品

◀青森県知事賞「大地を食むpart2」  
遠藤惟也さん(八幡町)

## 残雪を踏みしめながら

### 南蔵王夏山開き



南蔵王に夏山シーズン到来を告げる「南蔵王夏山開き」が5月26日に行われました。

40名の参加者は、硯石から不忘山・芝草平を通って刈田峠までのコースを残雪を踏みしめながらたどりました。この日は山頂付近で多少風が強かったものの、おおむねよい天気にも恵まれ、参加者は雄大な景色を満喫していました。

## 伝統芸能づくしの1日でした

### 碧水園で能狂言鑑賞会などが開催

6月8日、碧水園は伝統芸能づくしの一日となりました。午前は、白石市伝統芸能フェスティバルが開催され、市内の伝統芸能団体が長唄、琴、吟舞、仕舞などを披露しました。

そして午後は「能・狂言鑑賞会」。

白石ゆかりの能楽師小島英明さんがシテを務めた能「敦盛」や薩摩琵琶など、観客は平家物語の世界にどっぷりと浸りました。また、茶室では市民茶会が催され、こちらでも甲冑堂にまつわる話など、地元の源平の時代にちなんだ趣向で茶席が設けられました。



## 丹精込めた作品が並びました

### 「白石城さつき展」



5月26日から6月2日まで、白石城本丸で「白石城さつき展」が開催されました。

長いものでは100年以上も丹精込めて育て上げた、さつきや山野草など約100点が三階櫓わきの会場に並びました。

白石城を訪れた観光客も、お城とさつきの見事な取り合わせに感嘆しながら足を止めて見入っていました。